

かかりやすい病気・生理障害

病名	写真	症状	原因	対処方法 (うまくいくことを保証するものではありません)
ナス 青枯れ病		初め、高温時に茎頂部の葉が緑色のまま萎れる。 夜間・曇天時に一時的に回復する状態が-3日続いた後、全体に萎れやがて枯死する。	土壌伝染性の青枯れ病菌が、大量生産した細胞外多糖により維管束の通水を妨げる。	<p><処置> 速やかに抜き取り処分する。 土壌消毒等を行う。</p> <p><防除> タマネギや長ネギの根にいる微生物が青枯れ病を防ぐ効果があるため、 ①コンパニオンプランツとして長ネギを周囲に植える。 ②ナスの前作としてタマネギを植える</p> <p><改善効果> 更新剪定を行う。 ・主枝の葉を1-2枚残して剪定し、株元から約20-30cmの周囲にスコップを入れ根切りする。 その部分に緩効性の肥料を施肥する。</p>
べと病		葉に薄黄色の小さな斑点ができる。 ↓ 斑点が拡大し淡褐色に変わる。 ↓ 黄褐色のステンドグラス状の病斑 葉裏にカビ 晴天時パリパリ、雨天時ベトベト	菌による 葉の裏表の気孔から侵入 高温多湿で風雨により伝染	密植を避け、水はけ良くして過湿を避ける 敷き藁やマルチにより土壌からの感染を防ぐ 予防として薬剤散布、葉の裏表にまんべんなく行う。
トマト 尻腐れ病 (生理障害)		お尻部が黒くへこむ	カルシウム不足によるが以下のような理由により生じる。 ①土壌中のカルシウム不足 ②酸性土壌によるカルシウム吸収抑制 ③乾燥状態が続くことによるカルシウム吸収抑制 ④肥料過多により窒素過剰によるカルシウム吸収抑制	速効性のあるものとしては、カルシウムの入った葉面散布用肥料の施肥があります。 (但し、既に発症しているトマトは改善しません。新たな尻腐れ病の発症の予防をします) 基本は、最初の土作りの段階で、適量の石灰を巻き、肥料のやりすぎに注意します。